

揺籃

学校だより 令和3年12月1日 No. 293

柏崎市立柏崎小学校

柏崎市学校町1番88号

TEL0257-22-2196 FAX0257-24-0304

HPhttp://www.kenet.ed.jp/hakushou/

E-mail hakushou@kenet.ed.jp



「柏小カップ」(令和3年10月15日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親善陸上大会が中止となりました。課外活動で運動部に所属している児童に活躍の場面、めあての達成のための場面をつくるために新たにつくった行事です。運動部員が100m、50mH、800m、走り幅跳び、リレーの種目に挑戦しました。優勝者は大きな「柏小カップ」を手に写真に収まりました。

今こそ“つながリアン”でぬくもりある人づきあいを

生活指導主任 山之内 朋子

コロナ禍の学校生活において、日々子どもたちの心に寄り添いながら心配になることがあります。それは、日常生活における行動範囲が狭まり経験知が減少し、人間関係が希薄になってちょっとしたことに心配や不安を感じてしまうことです。さらに追い打ちをかけるのが、メディア依存への懸念です。

「夢と希望をもち、むねをはれる柏小っ子」を目指して進んでいます。しかしこの状況は、個々の自己肯定感を高めていくことに足かせとなっています。それでも負けずに目標に向かって進む柏小っこのパワーには、いつも驚かされます。おそらく根底にある“つながリアン精神”のおかげなのでしょう。「おはよう」の挨拶で相手を受け入れ、一緒に学び笑い合い、時にはぶつかり合いながら日々切磋琢磨しています。

12月1日には、全校みんなで児童会行事「わくわくランド」を実施します。昨年度は残念ながら中止となったこのイベント、今年度は内容を工夫した上での開催となりました。各学年各グループで考えた「ミッション」をお客様(子どもたち)に楽しんでもらいます。そこには事前段階で相手意識をもって準備が必要です。当日もどう声掛けし、どうおもてなしをするかつながりを考えて行動しなければなりません。みんなでお互いを思い合い、つながリアンになります。

互いを思い、よさを認め合いながらコロナ禍に負けない、ぬくもりある人間関係を構築し、自己肯定感を高めていきます。今後も学校・家庭・地域、皆さんと“つながリアン精神”で絆を深めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

ありがとう“たいようさん”

11月16日、ウサギのたいようさんが永眠しました。十年以上、柏崎小学校の一員として児童玄関で全校児童を見守り、心を癒し続けてくれました。おそらく卒業生の皆様も、たいようさんとの思い出がたくさんあるのではないのでしょうか。

訃報を放送で聞いた子どもたちは、たいようさんの前で手を合わせたり、おもいやりレターや折り紙でお花を折ってお供えしたりしてくれました。ここにも優しいつながリアンの精神が見られました。最後に「命」について教えてくれたたいようさんでした。

